

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公開番号】特開2010-165857(P2010-165857A)

【公開日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2010-030

【出願番号】特願2009-6897(P2009-6897)

【国際特許分類】

H 01 F	27/33	(2006.01)
H 01 F	27/24	(2006.01)
H 01 F	30/00	(2006.01)
H 02 M	3/00	(2006.01)
H 01 F	27/26	(2006.01)

【F I】

H 01 F	27/33	
H 01 F	27/24	Q
H 01 F	31/00	S
H 02 M	3/00	Y
H 01 F	27/26	Q

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

中央磁脚と、前記中央磁脚の外側に位置する外側磁脚とを夫々有する第1コア及び第2コアと、

前記第1コアの中央磁脚と前記第2コアの中央磁脚とを接着する第1接着部と、

前記第1コアの外側磁脚と前記第2コアの外側磁脚とを接着する第2接着部と、

前記第1コアの中央磁脚と前記第2コアの中央磁脚とに通され、一次巻線及び二次巻線を巻回されたボビンと、

前記第2接着部の付近における前記第1コアの外側磁脚と前記第2コアの外側磁脚とを前記中央磁脚に向かう方向へ押圧する弾性部材と

を備えることを特徴とするトランス。

【請求項2】

前記弾性部材は、熱収縮チューブであり、

前記熱収縮チューブは、熱収縮前の内径が、前記中央磁脚と直交する方向における前記トランスの外径よりも大きく、熱収縮後の内径が、前記トランスの外径よりも小さい熱収縮チューブであることを特徴とする請求項1に記載のトランス。

【請求項3】

前記弾性部材は、伸縮性チューブまたはバネ性部材であることを特徴とする請求項1に記載のトランス。

【請求項4】

前記ボビン、前記一次巻線及び前記二次巻線により形成されたコイルと、前記外側磁脚との間に弾性材が嵌挿されていることを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項に記

載のトランス。

【請求項 5】

中央磁脚と外側磁脚を有し、前記外側磁脚に結合部を有するコアと、
前記中央磁脚と前記外側磁脚の間に設けられたコイルと、
前記外側磁脚の前記結合部における振動を低減する振動低減部材と、を有し、
前記振動低減部材は、前記コイルと前記結合部の間に配置されていることを特徴とする
トランス。

【請求項 6】

前記振動低減部材は、前記外側磁脚の前記結合部に接触して配置されていることを特徴
とする請求項 5 に記載のトランス。

【請求項 7】

スイッチング電源装置であって、
請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載のトランスを備えたことを特徴とするスイッチ
ング電源装置。

【請求項 8】

D C - D C コンバータ装置であって、
請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載のトランスを備えたことを特徴とする D C - D
C コンバータ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明のトランスは、例えば、
中央磁脚と、前記中央磁脚の外側に位置する外側磁脚とを夫々有する第 1 コア及び第 2
コアと、

前記第 1 コアの中央磁脚と前記第 2 コアの中央磁脚とを接着する第 1 接着部と、
前記第 1 コアの外側磁脚と前記第 2 コアの外側磁脚とを接着する第 2 接着部と、
前記第 1 コアの中央磁脚と前記第 2 コアの中央磁脚とに通され、一次巻線及び二次巻線
を巻回されたボビンと、

前記第 2 接着部の付近における前記第 1 コアの外側磁脚と前記第 2 コアの外側磁脚とを
前記中央磁脚に向かう方向へ押圧する弾性部材と
を備えることを特徴とするトランスを提供する。

また、本発明は、

中央磁脚と外側磁脚を有し、前記外側磁脚に結合部を有するコアと、
前記中央磁脚と前記外側磁脚の間に設けられたコイルと、
前記外側磁脚の前記結合部における振動を低減する振動低減部材と、を有し、
前記振動低減部材は、前記コイルと前記結合部の間に配置されていることを特徴とする
トランスを提供する。